

京都市文化観光資源保護財団

NO. **84** 2002. 11. 20

会報

— もくじ —

— 寄稿 —

「祇園囃子」をめぐって

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター助教授

田井竜一 P 2

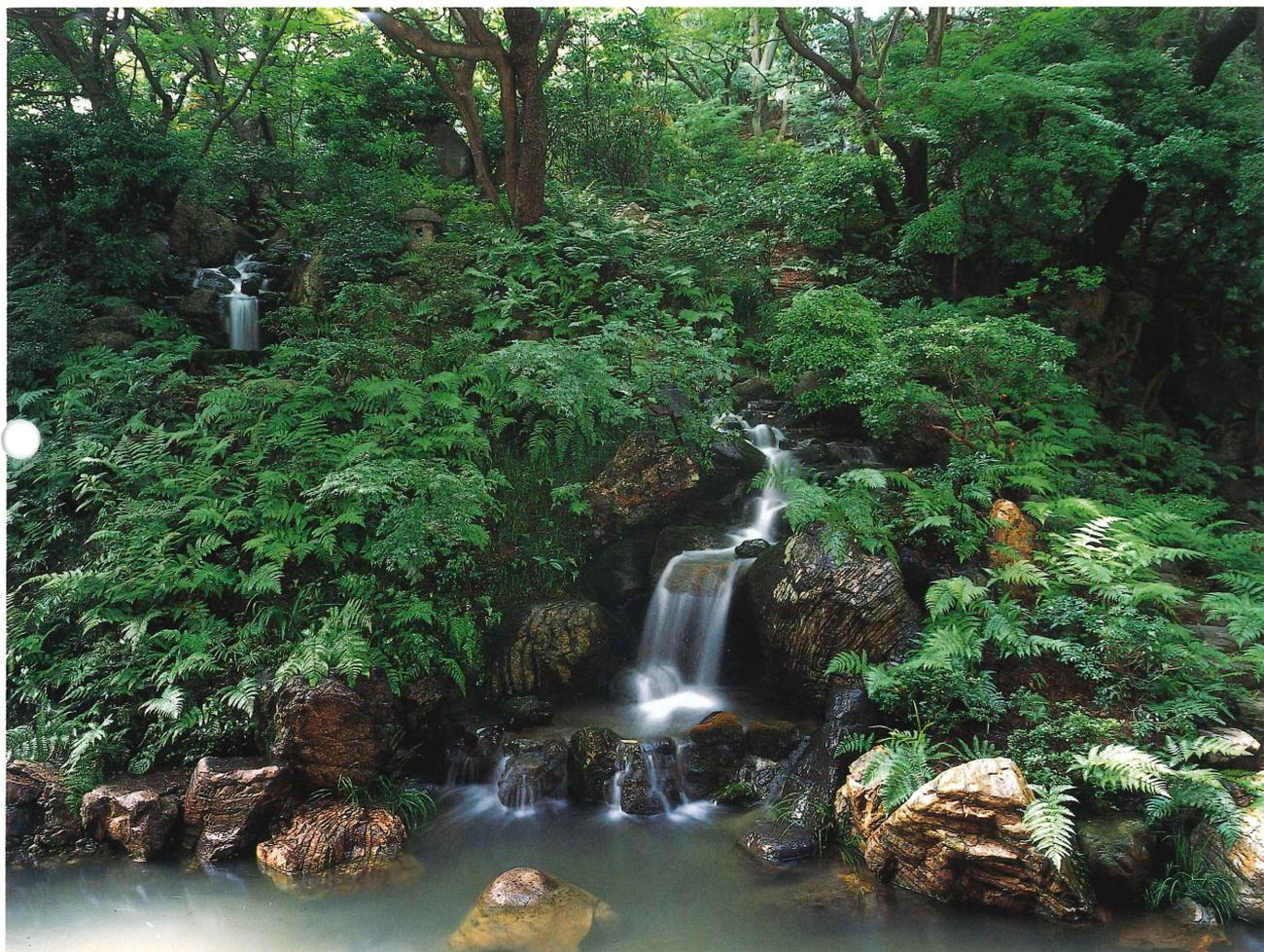
「檜皮茸について」

京都市文化市民局文化財保護課技師 河原伸治

P 5

— 保護財団の活動 —

P 8



「祇園囃子」 をめぐって

田井 竜 一

祭礼には囃子がつきものです。日本では古来より、重量のあるものを運搬する際には、囃子ではやしたてるのが通例でした。また、神霊を送迎するために、神霊のよりつくものをはやしたてる行為も一般的なものであったのです。作り物や仮装に趣向をこらし、踊り子自らが鞆鼓かっこや大型梓付締め太鼓などの打ち物をうちならし



室町時代の扇面画に描かれた祇園祭山鉦上での囃子
(写真：『京洛月次風俗図扇面流図屏風』部分、所蔵光円寺、京都市指定文化財)

ながらおどるのを特色とする風流拍子物はその代表的なものであり、山・鉦・屋台祭りの山・鉦・屋台もそれを原形としています。すなわち、作り物・山・鉦・屋台・仮装の者などは神霊のよりつく「はやされるもの」であり、それらがうごくのをはやす囃子は「はやすもの」といえます。京都祇園祭りの祇園囃子の源流もまた、そこにあります。

「コンチキチン」と形容される京都祇園祭りの祇園囃子は、京都にすむ人々にとって、あるいはそれ以外の人々にとってさえも、夏の訪れを連想する音であり、京都を代表する音であるといつてよいでしょう。そうであるがゆえに私達は、このあまりに有名な祇園囃子が、全国に伝播しているとおもいがちです。

しかし、意外なことに、祇園囃子が直接つたわったとかがえられるのは、京都府亀岡市の亀岡祭り、滋賀県大津市の大津祭り、三重県上野市の上野天神祭りの3ヶ所のみであり、ほとんどが京都の周辺地域に限られているのです(以下、京都祇園祭りの囃子が直接つたわったものを、「祇園囃子系統の囃子」とよぶことにします)。しかも、不思議なことに、全国に多数存在す

る祇園社には、祇園囃子系統の囃子がつたわっていません。これ程全国に様々な形で影響力をもってきた祭礼にもかかわらず、なぜ囃子だけが近隣の限られた地域にしか伝播しなかったのかというのは、大変興味深い問題です。

ちなみに、全国に何百という単位で分布する山・鉦・屋台の祭りや、その他の民俗芸能においては、しばしば「祇園囃子」という題名をもつ曲があり、そのため京都祇園祭りの囃子がつたえられていると錯覚しがちです。

しかし、それらは祇園囃子系統の囃子とはほとんど関連をもちません(もちろん、詳細に分析をすれば、旋律やリズムなどにそれらの片鱗をみいだすことは可能かもしれませんが)。おそらく、これらの「祇園囃子」は、京都祇園祭りを見聞した人々が、断片的にききおぼえてそれ



鶏鉦の囃子

ぞれの出身地にもちかえり、つたえたものとかんがえられます。その意味で、私はこれらを「イメージとしての祇園囃子」とよんでいます。

一方、先程のべた3つの地域の囃子と京都祇園祭りの囃子は、楽器の種類・編成・奏法、曲目、口唱歌(楽器の音を言葉でいいあらわすもの)、譜本の表記法などがおどろく程共通しており、「イメージとしての祇園囃子」とは一線を画すものとなっています。さらに、鉦かねは小学生、太鼓は中学生、笛は成人男性が担当するといったような、年齢階梯的な性格をもつことや、さらには練習の後に鉦に水をはるといった事柄にまで共通点がみられます。こうしたことは、音楽的な面だけではなく、組織や伝承の方法、さらには習慣・作法といったものまでが、セットで受容されたことをものごとがたっています。こ

檜皮葺について

河原伸治

檜皮葺とは、^{ひのき}檜の樹皮で建物の屋根を葺くことです。これは、こけら葺（厚さ3ミリほどのスギやサワラの板を重ねて葺く工法）や茅葺（^{かやぶき}ススキやアシなどで葺く工法）などの植物性屋根葺工法の中で、最も格式の高い技法として、古くから貴族の住宅や神仏を祀る社殿や仏堂に使用されてきました。

京都には檜皮葺の建物が数多くあります。神社では、^{かもわけいかづち}賀茂別雷（上賀茂）神社や^{かもみおや}賀茂御祖（下鴨）神社、北野天満宮、八坂神社の社殿群などがあります。又、寺院でも清水寺や法界寺、大報恩寺（千本釈迦堂）の本堂などは檜皮葺です。又、行政指定の文化財ではありませんが、京都御所にも紫宸殿や清涼殿をはじめとして貴重な檜皮葺の建物がああります。国宝・重要文化財に限ると、全国に檜皮葺建物は730棟程度ありますが、京都市内にはそのうちの約2割にあたる150棟があります。京都市は檜皮葺建物が全国で一番多い都市なのです。

檜皮はいつ頃から使われるようになったのでしょうか。非常に古くから使われていたことは間違いありませんが、西暦668年に滋賀県の比叡山山麓に建立された崇福寺（廃寺）の金堂や三重塔などの諸堂が檜皮で葺かれていたことが確認でき、これが記録に残る最古の事例です。奈良時代には平城宮の建物にも檜皮葺が多く用いられていたようです。この時代には一般に主

要な建物が瓦葺だったのに対し、檜皮葺は付属的な建物の屋根に用いられたようです。現在のように軒先を厚く見せ、竹釘で檜皮を固定するような技法は平安時代以降のものと考えられています。これにより日本人の感性にあった軽快で優美な屋根の曲線が作られるようになりました。



檜皮の採取



採取した檜皮の束（1丸=30kg）

ここで大事なことは、調査研究を統一されたフォーマット（たとえば調査項目やデータの提示方法）にしたがっておこなうことです。そうすることにより、系統だった比較ができ、山・鉾・傘鉾における囃子の共通点と相違点をはっきりとしめすことが可能になります。それだけではなく、先程来の3つの地域の囃子の調査研究も、同一のフォーマットでおこなっていますので、京都祇園祭りの調査が終了した段階で、それらとの比較も同じ土俵でおこなうことができることとなります。そのことにより、京都の祇園祭りをはじめとしたそれぞれの地域の囃子の特殊性といったものもうかびあがってくるでしょうし、最終的には、祇園囃子系統の囃子の特質もみえてくることでしょう。その段階で、前述した、京都祇園祭りにおいて、なぜ囃子だけが近隣の限られた地域にしか伝播しなかったのかという疑問に対しての、何らかの解答がみつかるかもしれません。

（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター助教授）

これらの類似は決して偶然ではなく、長期にわたる、しかも組織的な習得過程がないと不可能とおもわれます。そして、以上の事や成立の年代から、3つの地域の囃子は、何らかの方法で京都祇園祭りの囃子を直接習得したものであり、その直系にあたるものだといえます。

私は今までに、いわば分家筋にあたる、3つの地域の囃子の調査を順次おこなってきました。そして、現在、増田 雄氏（水口町役場総務課自治体史編纂調査員）と共に、いわば本家筋にあたる、京都祇園祭りの山・鉾・傘鉾の囃子を、毎年1ヶ所ずつ調査しています。意外なことに、全国的に有名な京都祇園祭りにおいても、その囃子に関しては従来まとまった調査研究はほとんどおこなわれてきませんでした。そこで、曲目、囃子の機会、伝承過程、囃子の基本構造などの、囃子に関する基本的な事柄を詳細に調査し、それらをつみあげていくことにしました。現在までに、長刀鉾・函谷鉾・鶏鉾・月鉾の調査をおこない、調査報告を作成しています。囃子を伝承しているすべての山・鉾・傘鉾を対象にするつもりですので、十数年がかりのプロジェクトになりそうです。まだまだ序の口ですので、まとまったことはいえない段階ですが、それでも当初の予想以上に、山・鉾の町による相違が大きいことがわかってきました。たとえばそれは、曲目、つなぎの囃子（フレーズ）の存在の仕方、譜本の表記法、次にはやす曲目を伝達する方法などにあらわれてきます。京都祇園祭りの囃子の特色はこれである、といったことは簡単にはいえそうもありません。調査すればする程、祇園囃子系統の囃子の奥の深さを実感させられます。

檜皮を採取する技能者を原皮師もとかわしといいます。原皮師は山林で檜の皮を剥き、一般に長さ75センチ程度にしたものを30キログラムごとに束ねて檜皮葺師に納めます。その檜皮を切ったり繕つくろったりして(拵こしらえ)、いくつかの規格に加工します。一般には長さ75センチ、先端の幅15センチ、後ろ側の幅10.5センチ、厚さ1.5~1.8ミリほどの、ちょうど貴族のもつ笏しやくのような形にします。これを屋根の下側から上に向かって1.2センチずつずらしながら葺いていきます。このとき檜皮は竹釘で留めていきます。檜皮の厚みはだいたい10センチほどですが、軒先だけは建物の優美さを出すために数十センチの厚さにしています。重さは檜皮1平方メートル当たり20キログラムになります。これは棧瓦葺の60~100キログラム、本瓦葺の200キログラムと比べるとかなり軽いものです。檜皮葺の屋根はおおよそ30~40年ごとに葺き替えます。瓦葺が60~100年なのに比べると短いですが、同じ植物性材料のこけら葺が20~30年程度なのに比べると長いといえます。油分を多く含んだものが良質とされますが、丹波地方の檜から採れるものが全国で一番良いとされています。

このような檜皮ですが、近年原皮師の減少や檜皮の不足のため、非常に手に入りにくくなりました。檜皮を採取する檜は直径60センチ以上のものが適当とされており、樹齢70年以上のものでないといけません。しかし、それまでに多くの檜が木材として伐採されてしまうため、現在では檜皮を採取できる木が少なくなっています。また、一度皮を剥いた檜は皮が再生するまでに時間がかかるため、おおよそ8~10年という長い周期で剥がなければなりません。原皮師も、

山林に入って20メートルを越すような高さまで木に登らなければならないなど危険で過酷な作業のため、後継者もしだいに減り、高齢者を中心に十数名程度しかいない状況です。このような事情もあり、檜皮葺の建物がしだいに減って銅板葺や鉄板葺に変わってきていますが、これは残念なことです。

このような状況を打開すべく、行政も対応策を考えるようになりました。昨平成13年に林野庁は、伝統的木造建造物を後世に伝えるために必要な檜皮や木材の供給や、原皮師の養成のための場所を提供することなどを目的として「世界文化遺産貢献の森林」を近畿・中国地方など



檜皮の拵え



屋根を葺く

の国有林に設定しました。そのうち520ヘクタールが京都市内にあります。又、文化庁でも昨年から、文化財建造物の修理に必要な原材料の確保のため、「ふるさと文化財の森構想」を立ち上げ、文化財の資材確保のための調査研究や、文化財修理関連技能者の養成研修をするための施設の建設を進めることにしています。これにより京都市では、清水寺や産寧坂の街並み保存

地区に近い東山区清水に「文化財保存技術研修センター(仮称)」を建設し、原皮師や屋根葺師などの養成研修や講習会をおこなえるようにします。又、ここでは屋根葺技術の普及啓発のために一般の人向けの展示もおこなう予定です。平成15年秋に開館の予定ですので、ぜひ足を運んでください。

(京都市文化市民局文化財保護課技師)

京の伝統行事芸能 (11月~4月)

11月

10日 嵐山もみじ祭・嵯峨大念仏狂言 嵐山渡月橋
(午前10時30分~午後2時)

12月

13~31日 六波羅蜜寺空也踊躍念仏(かくれ念仏)
(毎日午後4時頃~) 六波羅蜜寺

31日 おけら詣り(午後7時30分頃~) 八坂神社

1月

2日 新始め(午前10時~) 広隆寺

3日 久多の山の神・お弓(午前11時30分頃)
久多・志古淵神社

4日 蹴鞠始め(午後2時~) 下鴨神社

10日 梅林寺ジジバイ講(午前11時~) 梅林寺

14日 日野裸踊り(午後7時~) 法界寺

15日 大原上野町おこない・お弓(正午前後頃)
大原上野町・浄楽堂

2月

9日 小山の山の神(午後2時前後頃) 山科区小山

24日 上賀茂さんやれ祭(午前11時~午後12時30分)
上賀茂神社・上賀茂岡本町ほか

3月

15日 嵯峨大念仏狂言(午後2時30分・4時・5時30分)
・嵯峨お松明(午後8時) 清涼寺

4月

6・12・13日 嵯峨大念仏狂言(午後1時30分・2時30分・3時30分)
清涼寺

13日 今宮やすらい花 今宮神社
(正午過ぎ光念寺出発~午後3時頃今宮神社着)

13日 玄武やすらい花(午前9時出発~午後1時着)
玄武神社

13日 川上やすらい花 大神宮社
(祭典:午前11時頃,午後1時30分頃出発~
2時頃総神社着~3時頃今宮神社着)

20日 神幸祭・桂川舟渡御(午前11時) 松尾大社

21~29日 壬生大念仏狂言(午後1時~5時半) 壬生寺

注:ここに取り上げています行事・芸能は、京都市内で国又は京都市指定・登録及び当財団が保護対象としています。無形民俗文化財を紹介しています。又、行事日程は、都合により変更される場合があります。

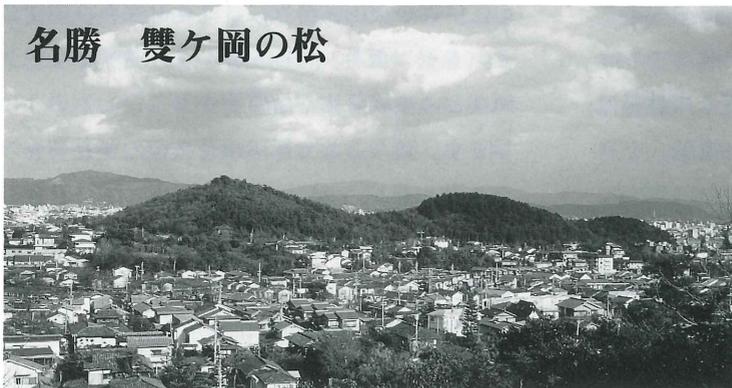


おけら詣り「鑽火式」



久多の山の神・お弓

名勝 雙ヶ岡の松



当財団では、京都市から22ヵ所の史跡等の日常の維持管理業務を受託していますが、ここでは現在名勝雙ヶ岡で行っています松の管理についてご紹介します。

右京区御室に位置する雙ヶ岡は、北から順に一の丘、二の丘、三の丘と連なる独立丘陵です。

この雙ヶ岡は、16世紀の上杉家本「洛中洛外図」屏風絵の中にも、すでに松に覆われた姿が描かれています。

又、行楽の地としての名所である仁和寺の桜に対して雙ヶ岡の松は、里人が行った山林管理により、良好な状態が保たれていました。そして、はなやかな桜とあざやかな松の緑という雙ヶ岡のイメージが定着してきたのです。昭和16年、国の名勝指定時にも「全丘に赤松・黒松を混成し……」という状態が保たれていました。

ところが、昭和20年代の畑地開墾・燃料としての松の伐採と、一方、昭和30年代の燃料革命により放置される状態が続き、松の衰退と雑木の繁殖、さらに、マツクイムシによる被害がこれに追討ちをかけ、松枯れが目立つ様になりました。そして、現在、雙ヶ岡全山に残っている松の数は、約1,600本にまで激減しています。このまま放置

すれば、数が減る一方である事から、どこかで歯止めをしなくては、将来、名勝が台無しになってしまいます。

そこで、昨年度から、雑木が密生している状態から松の数を増やす方向への取り組みを始めました。その方法として、昔から「里山管理の方法」と言い伝えられている、松を健全に育てる為の広葉樹の間伐や下刈りを行い、日当たり良くする事と、風通しを良くする事から始め、現在一の丘の半分くらいが出来たところです。

今年度も、引き続き、一の丘の整備を続け、松くい虫に強いアカマツ苗木の植樹を進め、多少でも、松の激減を緩和させるために、作業の継続を図る予定です。

そして、何時の日か「洛中洛外図」屏風絵に描かれているような、大木の松で覆われた雙ヶ岡の姿がよみがえるのを夢見て管理につとめていきます。



名勝雙ヶ岡で行っている松の植栽

平成14年度 文化財専門委員会を開催

今年度助成申請のありました、文化財所有者が行われる文化観光財並びに伝統行事芸能の保存執行に対する助成対象を選定します平成14年度文化財専門委員会を去る10月28日に開催しました。

文化観光財として、賀茂御祖（下鴨）神社（左京区）の撰社御蔭神社東西本殿修理工事、地藏院（北区）の地藏堂背面扉絵修理、超圓寺（上京区）の木造地藏菩薩立像修理など8件と前年度と同様伝統行事14件、芸能26件が助成対象に選定されました。

なお、文化財専門委員は次の方々で、助成額は当財団の理事会で決定されます。

文化財専門委員（敬称略・順不同）

- 井上 正 京都造形芸術大学教授（美術史－彫刻）
川上 貢 京都大学名誉教授（建築史）
武田 恒夫 大阪大学名誉教授（美術史－絵画）
西川 幸治 京都大学名誉教授（都市史・文化財保存修景）
森谷 尅久 武庫川女子大学教授（日本史）
伊藤 道雄 京都市消防局予防部長（防災施設）



賀茂御祖（下鴨）神社（左京区）の撰社御蔭神社東西本殿



超圓寺（上京区）の木造地藏菩薩立像

役員の変動

団体などの代表者の交代並びに新任者の就任に伴い、新役員が次のとおり選任されました。

新任役員（敬称略・順不同）

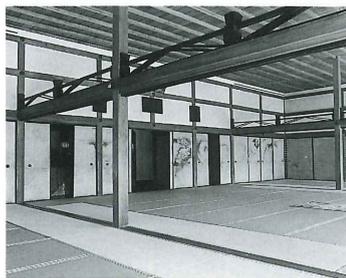
- 理事 九條 道弘（京都古文化保存協会理事長）
評議員 西郊 良光（妙法院代表役員代務者）
〳 渡邊 隆夫（京都府中小企業団体中央会会長）
〳 八島 俊章（東北経済連合会会長）

退任役員

- 理事 大久保 良順（前 京都古文化保存協会理事長）
評議員 大久保 良順（前 妙法院代表役員）
〳 本間 茂（前 京都府中小企業団体中央会会長）
〳 明間 輝行（前 東北経済連合会会長）

京の文化財探訪 秋の文化財特別公開

京都の優れた文化財に親しんでいただくため開催しています「京の文化財探訪」事業を、下記により開催いたします。



徳禪寺
客殿内部・襖絵
(狩野探幽筆)



霊鑑寺
本堂・庭園

■京都の新指定文化財 大徳寺別院「徳禪寺」を訪ねて

日時 11月23日(土)～25日(月) 3日間
午前10時～午後4時
(受付は、午後3時30分まで)

場所 京都市北区紫野大徳寺町

対象 客殿(京都府指定文化財)・客殿襖絵(京都市指定文化財)・庭園

参観料 500円

■紅葉の尼門跡寺院「霊鑑寺」の文化財を訪ねて

日時 11月23日(土)～27日(水) 5日間
午前10時～午後4時
(受付は、午後3時30分まで)

場所 京都市左京区鹿ヶ谷御所の段町

対象 本堂・書院(京都市指定文化財)・障壁画・御所人形等

参観料 500円

※会員の皆様には、別に招待状をもってご案内させていただきます。

2003年版文化財カレンダー

「築城400年 世界文化遺産 京都・二条城」



京都の文化財をテーマに毎年作成しています当財団オリジナルカレンダーを、来年築城400年をむかえる「二条城」をテーマに発行いたします。世界文化遺産にも登録されています二条城の文化財やその魅力を美しい写真でご紹介します。会員の皆様方でご希望の方は、下記の要領でお申込下さい。

規格：B3サイズ・8枚もの(表紙・解説含む)
申込方法：文化財カレンダー希望、住所、氏名(法人の場合は、法人名と代表者名)、電話番号、会員番号(当会報送付時の宛名に記載しています番号)を記入し、郵送料切手310円分を同封のうえ封書でお申込下さい。

申込期限：12月13日(金)まで(必着)

申込先：京都市左京区岡崎最勝寺町13 京都芸術センター
会館内(〒606-8342)

(財)京都市文化観光資源保護財団宛

注・申込資格は、当財団会員に限ります。
・申込部数は、法人・個人ともに1部とさせていただきます。
・カレンダーの発送は、12月上旬より順次発送いたします。
・なお、会員以外の方や、会員の方で2部以上をご希望の方は、実費頒布も行ないますので当財団事務局までお問い合わせ下さい。

文化財企画展「京都の庭」

京都に数多く残るさまざまな形態の庭園を、水系や生業など都市との関わりを観点に詳しく紹介する文化財企画展「京都の庭」を開催します。

国並びに京都市指定の名勝庭園などを事例にあげ、京都の庭園やその特色などを、記録資料や現況写真などから紹介します。

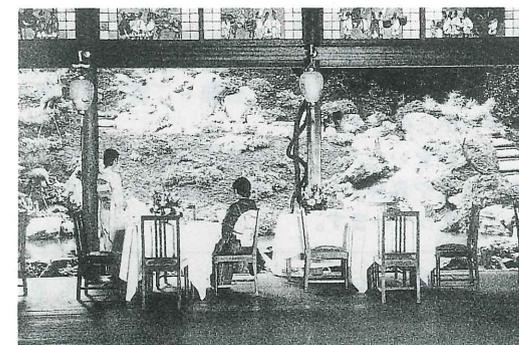
開催日時：1月11日(土)～28日(火) 18日間
午前10時～午後8時

会場：京都芸術センター

(京都市中京区室町通錦小路ル)

入場料：無料

※会員の皆様には、当事業の詳しいご案内を追ってご送付させていただきます。



同展で紹介する築造当初の京都市登録名勝「ウエスティンホテル京都葵殿庭園」(京都市東山区)同ホテルの庭園として、昭和8～9年に当時京都の造園界に一時代を画した植治こと小川治兵衛により作庭されたもので、最晩年の作例とされる。
撮影年は、不明であるが築造当初と思われるこの写真から、当時の当庭園の趣きがよくわかる。(写真提供：ウエスティンホテル京都、表紙に現在のカラー写真掲載)

第33回 京の郷土芸能まつり 「都の賑わい祭りまつり」

京都市域に伝承されている郷土芸能の公開の場と多くの方にその良さを紹介し、保存育成に対する理解と協力を呼びかけることを目的に毎年開催しています。

今回は、特に「太鼓」をテーマに開催します。京都市内と小京都からの特別出演を交えた賑やかな舞台をご覧ください。



嵯峨大念仏狂言

日時 2月23日(日)
開場13:30 開演14:00
〈2時間30分公演〉

会場 京都都会館第一ホール
(京都市左京区岡崎)

出演団体 ○京都市の芸能
嵯峨大念仏狂言、千本六斎念仏、一乗寺八大神社「剣鉾差し」、八瀬赦免地踊(船井郡和知町)
○京都府の芸能 和知太鼓
○小京都の芸能
山波神楽(広島県尾道市)

主催 京都市・(財)京都市文化観光資源保護財団・(社)京都市観光協会

後援 京都府教育委員会・(財)平安建都1200年記念協会・(財)祇神会

協賛 全国京都会議

入場料 2,000円(全席指定)

※会員の皆様は、料金を1,500円に割引させていただきます。(但し、お一人2枚まで。)ご希望の方は、当財団事務局までお申込下さい。

インターネットホームページ

—京都その文化遺産の保護と未来のために—
もっと知れば もっと京都是 おもしろい

京都の文化財や観光資源を紹介するページを
設け京都の魅力を順次紹介しています。さらに
財団が主催する催しや出版物などの普及啓発事
業の案内も随次更新しています。会員の皆様も
アクセスしてご利用ください。

URL <http://www.kyobunka.or.jp>



◇京都市の文化財—第19集— (送料別) 600円

◇京都市の文化財—京都市指定・登録文化財集—
(送料別) 2,000円

上記の図書をご希望の方は、事務局までお申込
下さい。

当財団では、会員の皆様方の声を大切に
活動を充実していきたいと思っています。

京都の文化財保護に関することや財団の
事業活動、会報などのご意見や感想、ご
提案又、会員皆様方同志の呼びかけや交流
などの内容でも結構です。当会報に掲載す
るなどご紹介させていただきますので、お
気軽に事務局までお寄せ下さい。

編集後記



本号では、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究
センターの田井竜一助教授から現在調査研究に取り
組んでおられます祇園祭に伝承されている祇園
囃子について ご寄稿をいただきました。祇園囃子
は、京都の代表的な民俗音楽であり、今後の調査
結果が待たれます。

又、日本の伝統的な木造建造物の屋根材料に使
われています檜皮葺に関するご寄稿を、京都市文
化市民局文化財保護課の河原伸治技師からいた
だきました。

京都は、特に檜皮葺の文化財建造物が全国でも
最も多く保存されており、皆様もご覧になる機会
も多いかと存じます。

ご一読をいただいて、檜皮葺をはじめとする木
造文化財や森林について理解を深めていただけ
ればと思っています。

◆◆刊行物のご案内◆◆

◇近代京都の名建築 (会員送料無料・税込) 1,890円

◇京都大文字五山送り火 () 1,365円

◇京都市文化財ボックス (すべて1,300円・送料別)

第11集「京都近世の肖像画

—市内肖像画調査報告書—

第12集「久多の山村生活用具」

第14集「歴史的建造物の保存と活用

—京都市内の国登録有形文化財より—

第15集「一枚の写真

—近代京都庶民生活写真引き—

第16集「遺跡から見た京都の歴史」

会報 No.84

2002. 11. 20

会報題字/理事長 上山善紀

会報表紙/ウエスティン都ホテル 京都 葵殿庭園

撮影 神崎順一

編集・発行/財団法人京都市文化観光資源保護財団

京都市左京区岡崎最勝寺町京都会館内

〒606-8342 TEL 075 (752) 0 2 3 5

FAX 075 (752) 0 2 3 6